

4章 自分自身を省察する

担当 河浪 勇気

他人の行動とは違い、自分の行動を解釈する場合は間違はずはない？

NO 自分自身を好ましく考える、自己奉仕バイアス、を働かせる。

e x) アメリカの高校生

さらに、責任転嫁も行う。 自動車事故の調書 など

自己欺瞞 テキスト 1~5

自らを欺くことにかけては驚嘆すべき才を発揮するが、自らを知ることが何よりも大事！

自己欺瞞の有用性 ・ 自己スキーマの形成

テキスト 1~6 e x) トム・正直者、T君・やさしい

自己スキーマは包括的の結びついている

= 包括的スキーマ 自己概念 アイデンティティ

自己概念を守るために、自己防衛バイアス 自己高揚バイアス という情報処理を行う。

原因帰属の4つの次元

内的 外的 安定 不安定 全体的 状況特殊的 コントロール可能 不能

e x) 歴史のテスト テニスの試合

抑うつ症との関連 抑うつ症になりやすい人

ネガティブな出来事を、内的で、安定した、全体的な、原因に帰属する

しかし、これは正確な帰属でもあり得る

抑うつ傾向の強い人 そうでない人

帰属の正確さ

原因と結果の関係が一目瞭然、または常識的に予想されることに合致する、場合は原因帰属が

正しい可能性が高い

しかし、 常識 普遍的に正しい

テキスト a・b

テキスト1・2を確かめる